

尾瀬国立公園の誕生

1934 年、尾瀬地域は日本で 4 番目に指定を受けた国立公園の一部として、日光国立公園に包含されていました。しかし、この 2 つの地域は環境的に大きく異なっているため、2007 年 8 月に独立した施設として尾瀬国立公園が設立されました。公園の範囲が会津駒ヶ岳や田代山の周辺地域まで広げられ、尾瀬国立公園は日本で 29 番目の国立公園となりました。関東地方と東北地方のちょうど境目にあり、東京からわずか 150 キロしか離れていないため、日帰りで訪れる人やキャンプをする人、登山者に人気の行楽地となっています。

尾瀬国立公園は長い間、日本における自然保護活動の最前線にありました。それは、もし施行されていればこの地域を水没させていた発電所の建設を中止させた市民主導の取り組みのおかげです。その他の活動には、公園内へ続く道路の開発阻止や、放置ゴミなどの観光客が環境にもたらす悪影響を防ぐ運動の立ち上げなどが挙げられます。